

長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	37	事業名	福祉の家事業	担当部課	福祉部長寿課	
基本情報	第6次総合計画・基本目標	4 誰もがいきいきと安心して暮らせるまち			決算書ページ	—
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進			会計区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無			予算区分(款 一 項 一 目)	
	その他(関係計画、要綱等)	有 福祉の家条例			3-1-8 福祉の家施設費	
	事業開始の背景、経緯等	福祉の家は、開館して18年が経過し、施設を取り巻く状況は急激に変化しており、施設の設置目的を効果的・効率的に達成するため、運営・管理方法の見直しを行う必要が生じている。				
市民・民間事業者との連携協働の可能性	民間事業者とのみ協働可			(両者と協働不可の場合はその理由)		

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 公民連携を活用した施設の改修、運営方法を含めた施設の利活用の更なる推進を進める。
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 福祉の家及び施設利用者
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 健康増進拠点及び交流拠点として、公民連携の活用を模索しながら幅広い市民のニーズに沿った福祉拠点とする。

項目	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)	
			事業費(A)	千円	予算	258,183	239,680	229,692
			決算	254,369	228,311	229,663	261,246	
人件費(B)	千円	決算	2,756	12,008	18,084	15,286		
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	257,125	240,319	247,747	276,532		
事業対象の数(D) (R3年度は想定数)	人		54,367	44,518	39,683	20,853	25,000	
対象あたりコスト(C/D)の 過去3年平均値	千円		5	5	6	13		

成果指標 (事業の意図を反映する指標)	単位	区分	H29年度(2017)	H30年度(2018)	R1年度(2019)	R2年度(2020)	R3年度(2021)
			福祉浴室及び歩行浴室、貸室利用者数	人	目標	43,900	45,100
		実績	54,367	44,518	39,683	20,853	
(指標の設定根拠)			(数値目標の根拠)				
市民の健康増進及び介護予防への取組の指標として適切であるため。			近年の利用者数の推移傾向により設定。				
(前年から指標を変更した場合はその理由)							
(前年までの指標)							

これまでの振り返り	目標達成状況・分析コメント	(成果指標等の目標に対する達成状況・分析状況や進捗状況など) 令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響により閉館や時間短縮、定員制限を行っており、今後も利用者数の動向は不透明である。
	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 令和2年度は、駐車台数不足を解消するために、敷地外の用地を買収し駐車場整備を行った。また、企画政策課が公民連携可能性調査に着手した。
	改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 大規模修繕及び再整備の予算措置ができないため、公民連携可能性調査により、施設全体の運営のあり方を検討していく必要がある。

事業を構成する事務事業①	福祉の家整備事業							
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)
	(1) 大規模修繕工事	台	見込	73	—	—	—	—
			実績	73				
	(2) 公民連携可能性調査	件	見込	—	1	—	—	—
実績			—					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R2年度(2020))> 令和2年度は、駐車台数不足を解消するために、敷地外の用地を買収し駐車場整備を行った。また、企画政策課が公民連携可能性調査に着手した。							今後の方向性	改善・見直し

事業を構成する事務事業②	事業内容								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
実績									
(3)		見込							
		実績							
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性		

事業を構成する事務事業③	事業内容								
	活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R2年度(2020)	R3年度(2021)	R4年度(2022)	R5年度(2023)	R6年度(2024)	
	(1) 市民参加の延べ人数	人	見込						
			実績						
	(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
実績									
(3)		見込							
		実績							
<備考:活動の概要(R2年度(2020))>							今後の方向性		

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 企画政策課が実施している公民連携可能性調査の動向を踏まえながら、適切な施設整備の準備を進める。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 榊長久手温泉の指定管理期間内(令和4年度まで)に施設整備の方向性を決める。

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・行政改革指針に係る「経営改革の推進」を踏まえ、民間事業者の導入など、市が負担する維持管理費の縮減に努めてください。 ・事業実施にあたっては、第6次長久手市総合計画の基本構想・基本計画を踏まえるとともに、長久手市みんなであつくるまち条例の趣旨に沿ったものとなるよう留意してください。
内部意見への回答		